職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設	置認可年月	18 1	校長	名			所在地			
大原簿記情	報	回61年12月		渡邉」			060-0806 北海道札幌市北区北(
専門学校札軸 設置者名	光仪	立認可年月		代表有			011-707-0088	所在地			
							101-0065				
学校法人大原		和54年4月1		中本		(電話)	東京都千代田区西神 03-3292-6266				
分野	認定課程名			定学科名			計士認定年度 21年文部科学	高度専門士認定	年度		門課程認定年度
商業実務	商業実務専門	課程	ヒジネスキ	キャリア2年	制字科		示第二十一号	_		半	成25年度 ————————————————————————————————————
学科の目的	ケーション技術の修得	必要とされる 引、ソフトウェ	る、会計知識 アの活用に	、マーケティ 関連した知	ィング知識 識・技能の	、パソコンス)修得を通じ	キルなどを修得するとと て、自立した社会人の育	もに、企業内で必要と 「成を目的とする。	される深	い会計知識、持	接客などのコミュニ
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	■取得可能な資格 日商簿記検定、MO ■中退率 中途退学者:11名					進路変更					
修業年限	昼夜 全課程の	修了に必要 単位	な総授業時数	数又は総	講	義	演習	実習	実	兵験	実技
	□□□ ※単位時間	単心、単位いずれ	1,700 🗎	単位時間	1,980	単位時間	2,100 単位時間	930 単位時間	0	単位時間	0 単位時間
2 年	生间 かに記入		Ĭ	単位		単位	単位	単位		単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生	数(生徒実員の内	内数)(B)	留学生害	引合(B/A)					
160 人	102 人		0 ,	,	0	%					
	■卒業者数(C)	:		62		Ż.					
	■就職希望者数 (D ■就職者数 (E)	:		62 62		숫					
	■地元就職者数(F ■就職率(E/D))	_	53 100		人 %					
	■就職本(と/ひ)	元就職者の)割合 (F/E))							
	■卒業者に占める就	職者の割合	(E/C)	85		%					
	■進学者数			100		%					
就職等の状況	■進子有数 ■その他			U		^					
	特になし										
	(令和 4 ■主な就職先、業界		に関する令利	和5年5月1	1日時点の	情報)					
		r +1									
	【「市和4年度卒業生)										
	(令和4年度卒業生) 一般事業会社、会計	†事務所									
	一般事業会社、会計		者評価:				#				
第三者による			者評価:				無				
第三者による 学校評価	一般事業会社、会計		者評価:				無				
学校評価	一般事業会社、会計		者評価:				無				
学校評価 当該学科の ホームページ	一般事業会社、会計	等から第三					無				
学校評価 当該学科の	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara	等から第三 .ac.jp/sappo					無				
学校評価 当該学科の ホームページ	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ	等から第三 .ac.jp/sappo る算定)					無		1 700) M/An+88	
学校評価 当該学科の ホームページ	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara	等から第三 .ac.jp/sappo る算定) 数	oro/	~ 室餘• 室	翌・実持6	ひ招撃時数	無) 単位時間) 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ	等から第三 .ac.jp/sappo る算定) 数	oro/			7)授業時数	無		150	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ	等から第三 .ac.jp/sappo る算定) 数	ero/ 年と連携した 年と連携した			の授業時数	無		150 0		
学校評価 当該学科の ホームページ	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ	等から第三 ac.ip/sappo る算定) 数 うち企業等 うち企業等	ero/ 等と連携した 受業時数	た演習の授	業時数		無無無		150 0 150	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ	等から第三 ac.ip/sappo る算定) 数 うち企業等 うち企業等	ero/ 等と連携した きと連携した 受業時数 うち企業等	と連携した	業時数 こ必修の実		実技の授業時数		150 0 150 0	単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時)	等から第三 acip/sappo る算定) 数 うち企業等 うち必修打	ero/ 等と連携した きと連携した 受業時数 うち企業等	と連携した	業時数 こ必修の実 こ必修の演	ミ験・実習・ 『習の授業時	実技の授業時数数		150 0 150 0)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等とと連携した実	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時)	等から第三 acip/sappo る算定) 数 うち企業等 うち必修打	字と連携した	と連携した	業時数 こ必修の実 こ必修の演	ミ験・実習・ 『習の授業時	実技の授業時数数		150 0 150 0)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時が	等から第三 ac.ip/sappo る算定) 数 うち企業等 うち必修持 (うち企業	字と連携した	と連携した	業時数 こ必修の実 こ必修の演	ミ験・実習・ 『習の授業時	実技の授業時数数		150 0 150 0 0)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した に会議した。	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時i	等から第三 ac.ip/sappo る算定) 数 うち企業等 うち必修持 (うち企業	ro/ 等と連携した 受楽時数 うち企業等 うち企業等と連携し	と演習の授: と連携した と連携した	業時数 に必修の実 に必修の演	累験・実習・ 『習の授業時プの授業時数	実技の授業時数数		150 0 150 0 0	単位時間 単位時間 単位時間)単位時間)単位時間)単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、B)・ずれか	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時が	等から第三 acip/sappo る算定) 数 うち企業等 うち必修持 (うち企業 算定) 数	pro/ 等と連携した をと連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等と連携し	に演習の授と連携したと連携したたインターこ実験・実	業時数 こ必修の実 こ必修の演 一ンシップ	累験・実習・ 『習の授業時プの授業時数	実技の授業時数数		150 0 150 0 0 0	9 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、B)・ずれか	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時が	等から第三 ac.ip/sappo る算定) 数 うち企業等等 うち企業等等 (うち企業等等 うち企業等等	pro/ 等と連携した をと連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等と連携した 等と連携した 等と連携した	に演習の授と連携したと連携したたインターこ実験・実	業時数 こ必修の実 こ必修の演 一ンシップ	累験・実習・ 『習の授業時プの授業時数	実技の授業時数数		150 0 150 0 0 0	単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 ・単位時間 ・単位 ・単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、B)・ずれか	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時が	等から第三 ac.ip/sappo る算定) 数 うち企業等等 うち企業等等 (うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等	pro/ 等と連携した 等と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した	と連携したと連携したことでは、 と連携したことでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、	業時数 こ必修の実 こ必修の演 一ンシップ 習・実技の	実験・実習・ 習の授業時 プの授業時数 の授業時数	実技の授業時数 数 枚)		150 0 150 0 0 0	単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 ・単位時間 ・単位 ・単位 ・単位 ・単位 ・単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、B)・ずれか	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時が	等から第三 ac.ip/sappo る算定) あた企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等	pro/ 等と連携した 等と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した	次習の授と連携したと連携したインター二次第の授に次習の授と連携した	業時数 こ必修の実 こ必修の演 こ必修の演 ことが の演 で い が で い が で い が で い が に い が の に の に が に の に の に の に の に の に の に の	家験・実習・ 習の授業時 プの授業時数 の授業時数	実技の授業時数 数 対) 実技の授業時数		1500 0 1500 0 0 0	単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 ・単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、B)・ずれか	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時が	等から第三 ac.ip/sappo る算定) あち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等	pro/ 等と連携した 等と連携した 受業時数 うち企業等 さを連携した 等と連携した 等と連携した を を を を を を を を を を を を を	実習の授と連携したたよと連携したたインターた実験・実た演習の授と連携したと連携した	業時数 こ必修の実 こ必修の実 こ必修の演 習・実技の 業時数 ことの修の演 ことの修の演 ことの修の演 ことの修の演 ことの修の演 ことの修の演	定験・実習・ 習の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 で変数・実習・ で変数・実習・	実技の授業時数 数 対) 実技の授業時数 数		1500 0 0 1500 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 ・単位時間 ・単位 ・単位 ・単位 ・単位 ・単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、B)・ずれか	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時が	等から第三 ac.ip/sappo る算定) あち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等	pro/ 等と連携した 等と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等と連携した 等と連携した うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	実習の授と連携したたよと連携したたインターた実験・実た演習の授と連携したと連携した	業時数 こ必修の実 こ必修の実 こ必修の演 習・実技の 業時数 ことの修の演 ことの修の演 ことの修の演 ことの修の演 ことの修の演 ことの修の演	定験・実習・ 習の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 で変数・実習・ で変数・実習・	実技の授業時数 数 対) 実技の授業時数 数		1500 0 0 1500 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、B)・ずれか	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時が	等から第三 ac.ip/sappo る算定) あち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等	pro/ 等と連携した 等と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等と連携した 等と連携した うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	実習の授と連携したたよと連携したたインターた実験・実た演習の授と連携したと連携した	業時数 こ必修の実 こ必修の実 こ必修の演 習・実技の 業時数 ことの修の演 ことの修の演 ことの修の演 ことの修の演 ことの修の演 ことの修の演	定験・実習・ 習の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 で変数・実習・ で変数・実習・	実技の授業時数 数 対) 実技の授業時数 数		1500 0 0 1500 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、B)・ずれか	一般事業会社、会言 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時 (B:単位数による 総授業時)	等から第三 ac.jp/sappo る算定) うち企業等等 うち必修移 第数 うち企企業等等 うち企企業等等 うちを企修移 うちを企業等等 うちを企業等等 うちを企業等等 うちを企業等等 うちを企業等等	pro/ 春と連携した 最楽時数 うち企業等 うち企業等と連携した 身と連携した 身と連携した うち企業等 と連携した 身と連携した 身と連携した なるのである。	定演習の授 はと連携した とと連携したインタ・ など実験・実 で演習の授 はと連携した にインタ・ はと連携した はとは はした はとは はと はした はと はした はと はした はと はした はと はした はと はした はと は は は は は は は は は は は は は な は な は な は な は な は な は な な な な な な な な な な な な	業時数 こ必修の実 こと必修の実 習・実技の 著・実技の でと必修の 変 でとなり では、ことが修の 変 では、ことが修の 変 では、ことが修の 変 では、ことが修の 変 では、ことが修の 変 では、ことが の 変	定験・実習・ 習の授業時数 の授業時数 の授業時数 ごの授業時数 ごの授業時数	実技の授業時数 数 枚) 実技の授業時数 数 枚)		150 0 150 0 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、B)・ずれか	一般事業会社、会言 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時: (B:単位数による 総授業時: おいてき族 ない、当時	等から第三 ac.ip/sappo 多算定) うち企業等等 うち企企業等等 (うち企) うち企必修移 第数 うち企企業等等移 (うち企) うち企必修移 等数 うち企必修移 でも必必を でも必必を でも必必を でものも をものも でものも をものも でものも をものも	pro/ 春と連携したた要素時数 等をと連携したたまます。 まなりまする企業等と連携したたまます。 なるのでは、まないでは	に演習の授い と連携したと連携したとと連携したインター に実験・実 と連携したと連携したと連携したとを連携したとを連携したとを を連携したと連携したとを をでに とをでに としたインター	業時数 こ必修のの実施を必修のの実施を必修のできませる。 このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	定験・実習・ 習の授業時数 の授業時数 の授業時数 ごの授業時数 ごの授業時数	実技の授業時数 数 対) 実技の授業時数 数	第1号)	150 0 150 0 0 0	単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した に会議した。	一般事業会社、会言 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時: (B:単位数による 総授業時: おいてき族 ない、当時	等から第三 ac.ip/sappo 多算定) うち企業等等 うち企企業等等 (うち企) うち企必修移 第数 うち企企業等等移 (うち企) うち企必修移 等数 うち企必修移 でも必必を でも必必を でも必必を でものも をものも でものも をものも でものも をものも	pro/ 等と連携した を要素時数 うち企業等と連携したたる 等と連携したたる 等と連携したたる 等と連携したたる 等と連携したたる 等と連携したたる。 等と連携したたる。 等と連携したたる。 等と連携したたる。 等と連携したたる。 等と連携したたる。 等と連携したたる。 等と連携したたる。 等と連携したたる。 等と連携したたる。 等と連携したたる。 等と連携したたる。 等と連携したたる。 等と連携したたる。 等と連携したたる。 なる。 なる。 なる。 なる。 なる。 なる。 なる。 な	に演習の授い と連携したと連携したとと連携したインター に実験・実 と連携したと連携したと連携したとを連携したとを連携したとを を連携したと連携したとを をでに とをでに としたインター	業時数 こ必修のの実施を必修のの実施を必修のできませる。 このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	定験・実習・ 習の授業時数 の授業時数 の授業時数 ごの授業時数 ごの授業時数	実技の授業時数 数 枚) 実技の授業時数 数 枚)	第1号)	150 0 150 0 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した沢ス	一般事業会社、会部 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時が (B:単位数による 総授業時が でで、当該と た期間と:	等から第三 ac.ip/sappo 多算定) うち企業等等 うち企企業等等 (うち企) うち企必修移 第数 うち企企業等等移 (うち企) うち企必修移 等数 うち企必修移 でも必必を でも必必を でも必必を でものも をものも でものも をものも でものも をものも	pro/ 亭と連携した 亭と連携した ラま企業時数 ラち企業等と連携したたた を連携したたた。 を連携したたた。 な業等と連携を変素する企業等した。 保育等に限ととも、 にはいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるので	に演習の授い と連携したと連携したとと連携したインター に実験・実 と連携したと連携したと連携したとを連携したとを連携したとを を連携したと連携したとを をでに とをでに としたインター	業時数 こ必修のの実施を必修のの実施を必修のできませる。 このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	定験・実習・ 習の授業時数 の授業時数 の授業時数 で、実習・ で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	実技の授業時数 数 枚) 実技の授業時数 数 枚)		1500 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携機とした況のに記入した記入した記入した記入した記入した記入した記入した記入した記入した記入した	一般事業会社、会計 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間によ 総授業時 (B:単位数による 総授業時 おい、当該 た期間と ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	等から第三 ac.jp/sappo 3 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	pro/ 春と連携した を要等を連携したたまで、 うち企業等と連携したたまで、 なる企業等と連携したたまで、 なる企業等とを連携したたまで、 なる企業等は、 はたまでは、 はたまでは、 はいまする企業には、 はいまする。 はいまる。 はいる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はなる。 はなる。	に演習の授い と連携したと連携したとと連携したインター に実験・実 と連携したと連携したと連携したとを連携したとを連携したとを を連携したと連携したとを をでに とをでに としたインター	業時数 こ必修のの実施を必修のの実施を必修のできませる。 このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	2 験・実習・ 習の授業時数 の授業時数 の授業時数 (専修学社 (専修学社	実技の授業時数 数 数 実技の授業時数 数 数 数	第2号)	1500 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 ・単位 ・単位 ・単位 ・単位 ・単位 ・単位 ・単位 ・単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実施・ とを実施・ とを実施・ に記入) を表現した。 を表現した。 ないでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののののでは、 のののでは、 ののでは、 ののでは	一般事業会社、会言 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間による 総授業時 (B:単位数による 総授業時 (ない、期間と た期間と ② 学士(③ 高等	等から第三 ac.ip/sappo る第定) うち企業等等 がらうち企企業等等 がらうち企企業等等 がらうち企企業等等 がらうち企企業等等 がらうち企企業等等 が対担門課算して できる。 なが、対して のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	pro/	と演習の授 はと連携した と連携した とと連携した とと を表 る さる る	業時数 こ必修のの実施を必修のの実施を必修のできませる。 このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	2 験・実習・ 習の授業時数 の授業時数 の授業時数 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実技の授業時数 数 数 枚) 実技の授業時数 数 枚) 交設置基準第41条第1項第	第 2号)	1500 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間 ・単位 ・単位 ・単位 ・単位 ・単位 ・単位 ・単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携機関を連携を表す。 に記入)	一般事業会社、会言 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間による 総授業時 (B:単位数による 総授業時 (ない、期間と た期間と ② 学士(③ 高等	等から第三 ac.ip/sappo 3	pro/	と演習の授 はと連携した と連携した とと連携した とと を表 る さる る	業時数 こ必修のの実施を必修のの実施を必修のできませる。 このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	28験・実習・ 習の授業時 プの授業時数 の授業時数 では、事務を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実技の授業時数 数 数 文) 実技の授業時数 数 数 文) 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第	第2号) 第3号) 第4号)	1500 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等と連携施状況からに記入)	一般事業会社、会言 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間による 総授業時) ① 専修と おい、期間と ・ た規 ・ は	等から第三 ac.ip/sappo 3	pro/	と演習の授 はと連携した と連携した とと連携した とと を表 る さる る	業時数 こ必修のの実施を必修のの実施を必修のできませる。 このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	28験・実習・ 習の授業時 プの授業時数 の授業時数 では、事務を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実技の授業時数 数 效) 実技の授業時数 数 效) 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第	第2号) 第3号) 第4号)	150 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等と連携施状況からに記入)	一般事業会社、会言 ■民間の評価機関: https://school.o-hara (A:単位時間による 総授業時: (B:単位数による 総授業時: (B:単位数による 総授業時: (B:単位数による (B:単位数による) (B:単位数による) (B:単位数による) (B:単位数による)	等から第三 ac.ip/sappo 3	pro/	と演習の授 はと連携した と連携した とと連携した とと を表 る さる る	業時数 こ必修のの実施を必修のの実施を必修のできませる。 このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	28験・実習・ 習の授業時 プの授業時数 の授業時数 では、事務を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実技の授業時数 数 效) 実技の授業時数 数 效) 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第	第2号) 第3号) 第4号)	150 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 上	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等と連携施状況からに記入)	一般事業会社、会計 ■民間の評価機関:	等から第三 ac.jp/sappo 3	ro/ 春と連携したたと連携したたまな楽ります。 本等とと連携したため、 まずをとを楽ります。 まずととをといる ない まず はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	に演習の授いと連携したとき連携したインターとを実験での授いたインターを実験である。 を主連携したときない。 を主連携したときない。 を主連携したときない。 を主きなる者がにしている。 ときとしたインターとできない。 ときとしたインターとできない。 ときとしたインターとできない。 ときとしている。 ときとしている。 ときとしている。 ときともなる者がにいる。 ときともなる者がにいる。 ときともなる者がにいる。 ときともなる者がにいる。 ときともなる者がにいる。 ときともなる者がにいる。 ときともなる者がにいる。 ときともなる。 ときなる。 とをなる。 と	業時数 学校 修のののでは、 一番 学校 修修ののでは、 一番 学校 修修を シャップ できる	定験・実習・ 習の授業時数 の授業時数 の授業時数 (専修学 (専修学) (専修学) (専修学)	実技の授業時数 数 效) 実技の授業時数 数 效) 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第	第2号) 第3号) 第4号) 第5号)	1500 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 上	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針
- ①卒業生の主な就業先である一般事業会社(経理事務職)と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②商業実務分野における学修の中心となる会計知識、計数能力、マーケティング知識、情報パソコンスキルは勿論のこと、より高度な会計知識である、財務開示、財務分析などの教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最 新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置づけについて

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議 策定するための機関として位置づける。また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育 課程編成にも活用していく。

- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、教務部長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。
- (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年9月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
渡邉 良憲	大原簿記情報専門学校札幌校 校長		
間山 あゆみ	大原簿記情報専門学校札幌校		
敬禮 匡	一般狂団生 11年月 八代美多同居堂	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	1)
森永 修	イオン北海道株式会社	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	3

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
 - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)

年2回開催 (7月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年7月27日 17:00~17:50

第2回 令和4年12月14日 17:00~17:50

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

教育課程編成委員会において教育内容全般に対して意見を頂くが、「マーケティング」及び「就職後のキャリア形成」を視野に、下記の取り組みを実施した。

■ マーケティング

卒業研究において「店舗」という枠にこだわらないテーマの設定について助言を頂いた。 店舗とネットでの相違点の比較や、ネット販売に関する知識強化に向けて、新科目である『ネットマーケティング』の指

導

強化を図る。

■ 就職活動報告会の実施

学生時代に大勢の前で話をした経験の有無、量の違いが入社後のキャリア形成に大きく影響するとの助言を頂いた。 卒業及び就職を控えた上級生から普段接することのない1年生に対して自身の就職活動での体験を対面形式で直接 伝える機会を設け、経験値の向上を図る。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①商業実務分野における実習・演習は、教育社会福祉分野、工業分野等の分野と異なり、企業等との連携の下、学内で 行なわれる学習科目が多いことを考慮して、実習・演習の組立を行なう。
- ②企業との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。
- ③企業から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企業等の実務の視点から評価を仰ぐ。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- マーケティング研究、経理事務総合の授業運営に関して企業等と協定書を締結、打合せを行い、下記の4点について講義内容の質向上のために連携している。
- ① 実習授業内容構築へのサポート
- ② 当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③ 授業方法に関する教員への指導
- ④ 学生の学修習熟状況の評価
- (3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科 目 概 要	連携企業等
卒業研究	商業実務分野の実務において、様々な職種に幅広く求められるマーケティングの基礎知識修得を、企業等との連携により、より実践的に修得することを目的として実習を行う。 実習においては、エリアマーケティングを中心に学習を進めていく。	イオンリテール株式会社 イオン北海道株式会社
経理実務	商業実務分野の実務において、経理職および事務職に求められる、基礎知識および事務手続きを、企業との連携により、より実践的に修得することを目的として講義・演習を行う。 演習においては、証憑書類・帳簿・申告書等の作成を中心に行う。	山口一雄税理士事務所 宮下直樹税理士事務所 Future Create

- 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。そのために下記のとおり教員研修の環境を整える。

「大原学園 教職員研修規程」の目的に定めるとおり、教職員が専攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力等を高めるための環境を整備し、所属長の指示または本人の意思により、公平に研修等を受講する機会を与えるものとする。校内、校外において学園が企画する研修は下記のとおりとなる。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大学教授等専門分野に特化した講師として招いた研修会の実施
- ③学内に設置される附帯教育講座を利用しての自己啓発

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: インボイス制度対策セミナー 連携企業等: 宮下直樹税理士事務所

期間: 令和4年10月14日(金) 対象: ビジネスキャリア学科教員

内容インボイス制度への対応、電子取引と証憑保存について学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

公益財団法人 北海 研修名: コーチングの理論とその活用につい 連携企業等:道私立専修学校各種

学校連合会

期間: 令和4年8月2日(火) 対象: ビジネスキャリア学科教員

コーチングの期限、②コーチングの基本的な考えと機能、③コーチングのコアスキル、④コーチング・フ

内容
ローの学生指導・学習指導への応用、⑤学生との関わり方の基本を詳細に学ぶ。

公益財団法人・北海

研修名: 学生指導に活かす認知行動療法 連携企業等: 道私立専修学校各種

学校連合会

期間: 令和4年12月22日(木) 対象: ビジネスキャリア学科教員

内容 コロナ後のメンタルヘルスケアをサブテーマに、①ソーシャルサポートの重要性、②うつ病の診断基準、

③柔軟な思考力について、事例や研究結果を通して学ぶ。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: インボイス制度の直前準備及び実務対応について 連携企業等: 宮下直樹税理士事務所

期間: 令和5年8月25日(金) 対象: ビジネスキャリア学科教員

内容
インボイス制度の実務への対応方法に加え、求人採用のトレンド情報や経営者保証・事業承継の

^{内台} マッチングについてを幅広く学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: ~持続可能な組織・地域をつくるために~ 連携企業等: 道私立専修学校各種

学校連合会

期間: 令和5年8月1日(火) 対象: ビジネスキャリア学科教員

内容 企業における『価値』の発見と共感をもたらす『価値』の必要性について学ぶ。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

ガイドラインの評価項目	ン」の項目との対応 学校が設定する評価項目
73 11 3 12 3 H IM X I	①理念・目的・育成人物像は定められているか。
(1)教育理念•目標	②学校の特色はなにか。
17. 我自己心 口惊	③学校の将来構想を抱いているか。
	①運営方針は定められているか。
	②事業計画は定められているか。
	③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。
(2)学校運営	④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。
	⑤意思決定システムは確立されているか。
	⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。
	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人 材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。
	③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされている
	か。 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施さ
(3)教育活動	
	れているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。
	⑦育成目標に向け授業を行なう事ができる要件を整えた教員を確保
	少月成日標に同り授業を打なり事ができる安件を登えた教員を確保 しているか。
	⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。
	③ ② ② ② ② ② ② ② ② ②
	③貝恰以待の拍等体制はめるが。
	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図ら
	れているか。
(4)学修成果	②資格取得率の向上が図られているか。
(, , 1 12) () (③退学率の低減が図られているか。
	④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。
	①就職に対する体制は整備されているか。
	②学生相談に関する体制は整備されているか。
	③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。
	④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。
(5)学生支援	⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。
	⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行なわれているか。
	⑦保護者と適切に連携しているか。
	⑧卒業生への支援体制はあるか。
	②佐郎 乳供け 教育しの立西性により対応でもでしまい乾供されて
	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されて いるか。
/ a \	(2)学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制
(6)教育環境	を整備しているか。
	③防災に対する体制は整備されているか。
	①学生募集活動は、適正に行なわれているか。
(7)学生の受入れ募集	②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。
77年上00支入40分末	③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行なわれているか。
	④学納金は妥当なものとなっているか。
	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。
(0) 叶敦	②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。
(8)財務	③財務について会計監査が適正に行なわれているか。
	④財務情報公開の体制整備はできているか。
	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。
(a) \d \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。
(9)法令等の遵守	③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。
	④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。

(11)国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

今年度の学校関係者評価委員会において、心身共に満たされた状態(心の健康)を示す『ウェルビーイング』について、企業、

経営者、従業員の方の取り組み、ノウハウをご教授頂いた。

学生相談に関する体制の整備、退学率の低減に向けて、学校現場に取り入れられる内容や日頃から意識しておこなうべき 事柄を実践しながら一人一人の成長に寄り添った指導に努める。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
森永 修	イオン北海道株式会社	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	企業等委員
石川 智寛	学校法人札幌国際大学 札幌国際大学短期大学部	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	大学教授
島元 宏忠	Future Create	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	企業等委員
小村 裕作	一般社団法人 北海道情報システム産業協会	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	企業等委員
佐藤 克彦	キーウェア北海道株式会社	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	企業等委員
登坂 裕幸	合同会社 ヒロコーポレーション	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	卒業生
天川 晶寛	キーウェア北海道株式会社	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和5年10月20日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。
- ②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①学校の概要 ②目標・方針・特色 ③所在地、連絡先 ④学校の沿革
(2)各学科等の教育	①カリキュラム、時間割、目指す資格 ②検定、資格取得・検定試験合格実績 ③卒業生の進路
(3)教職員	各学科の担当教員紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	各学科の実習紹介
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②クラブ活動
(6)学生の生活支援	学習や学校生活に対する不安解消(先輩の声)
(7)学生納付金・修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等の紹介
(8)学校の財務	学園の財務状況公開
(9)学校評価	学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	-
(11)その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和5年10月20日

授業科目等の概要

				専門課程ビジ												
		分類	į						授	業フ	5法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	攜	演習	実験・実習・実技		校 外			企業等との連携
1	0			簿記入門 I	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ	1 前	30	1	0			0		0		
2	0			ビジネス教養 I	企業内で多岐にわたり使用される電卓のス ピード、正確性を高める実技演習を行う	1 通	30	1		0		0		0		
3	0			一般教養 I	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟 語、慣用句などを学ぶ	1 通	30	1	Δ	0		0		0		
4		0		3級商業簿記 基礎	株式会社における複式簿記の基本原理、簿記 の基本原理を学ぶ	1 前	90	3	0			0		0		
5		0		3級簿記総合	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演 習を通じて学ぶ	1 前	120	4		0		0		0		
6		0		2級商業簿記 基礎 I	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社 会計の基礎を学ぶ	1 前	60	2	0			0		0		
7		0		2級工業簿記 基礎 I	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	1 前	60	2	0			0		0		
8		0		2級簿記総合 I	商企業および工企業の会計処理を問題演習を 通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算 の基礎も学ぶ	1 前	90	3		0		0		0		
9		0		1級会計学 速習基礎	会計基準および適用指針など実務に直結する 会計の基礎について短期間で学習し、問題演 習は各自で行うことを原則とする	1 前	60	2	0			0		0		
10		0		1級原価計算 速習基礎	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容について短期間で 学習し、問題演習は各自で行うことを原則とす る	1 前	60	2	0			0		0		
11		0		1級簿記 速習総合	大企業を前提とした会計制度を学ぶ	1 前	90	3		0		0		0		
12		0		1級簿記 速習演習	個別会計、結合会計などを通じて近年の企業 再編等についても学ぶ	1 前	60	2		0		0		0		

		_	1							-			
13	C		全経簿記上級 総合 I	大企業を前提とした会計制度、複雑な会計処 理をより詳細に学ぶ	1 前	120	4	Δ	0	0	С)	
14	C		2級商業簿記 基礎 Ⅱ	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書 類の関連性について体系的に学び、財務報告 書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ	1 前	90	3	0		0	C)	
15	C		2級工業簿記 基礎 Ⅱ	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	1 前	90	3	0		0	C)	
16	C		1級会計学 入門 I	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び 現行基準との整合性、課題を学ぶ	1 前	90	3	0		0	C)	
17	C		1級原価計算 入門 I	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な 内容を学ぶ	1 前	90	3	0		0	C)	
18	C		Word基礎	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解 する	1 前	60	2	\triangleleft	0	0	C)	
19	C		Word応用	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を 習得する	1 前	30	1		0	0	С)	
20	C		2級商業簿記 応用 I	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ	1 前	30	1	0		0	C)	
21	C		2級工業簿記 応用 I	工業簿記および原価計算の関係および会計処 理を学ぶ	1 前	30	1	0		0	C)	
22	C		2級簿記総合 Ⅱ	商企業および工企業の会計処理を問題演習を 通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ	1 後	90	3		0	0	С)	
23	C		2級簿記総合Ⅲ	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の 演習を通じて学ぶ	1 後	90	3		0	0	С)	
24	C		1級会計学 基礎 I	会計基準のみならず適用指針など実務に直結 する会計の基礎について学ぶ	1 前	30	1	0	Δ	0	С)	
25	C		1級原価計算 基礎 I	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎およ び経営戦略の基本的な内容を学ぶ	1 前	30	1	0	Δ	0	С		
26	C)	1級会計学 総合 I	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ	1 後	90	3		0	0	С		
27	C		1級原価計算 総合 I	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ	1 後	90	3		0	0	С		

			I	T	1	1					1 1		- 1	 1
28		0	キャリア デザイン I	面接試験において求められるビジネスマナー の基礎を学ぶ	1 通	30	1		0		0	(0	
29		0	Excel基礎	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用 法を習得する	1後	60	2			0	0		0	
30		0	Excel応用	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習	1 後	30	1		0		0	(0	
31		0	全経簿記上級 総合 II	大企業を前提とした会計制度を学習し、複雑な 会計処理をより詳細に学ぶ	1後	120	4	Δ	0		0	•	0	
32		0	1級会計学 入門Ⅱ	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容 から確認し、基礎的な理論体系、現行基準との 整合性を確認する	1 後	60	2	0			0	(0	
33		0	1級原価計算 入門Ⅱ	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容 から確認し、工業簿記および原価計算の関係 性を学ぶ	1 後	60	2	0			0	(0	
34		0	ビジネスマナー 応対	ビジネスマナー、電話応対などを総合的に学ぶ	1後	30	1	4	0		0	(0	
35		0	キャリア デザイン I	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	1 後	30	1	0	4		0	•	0	
36		0	Power Point 基礎	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出 来る操作力を身に付ける	1 前	60	2	0			0	•	0	
37		0	Power Point 応用	MOS PowerPointレベルの操作を習得する	1 前	30	1		0		0	,	0	
38	0		一般教養Ⅱ	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	2 通	30	1		0		0	,	0	
39	0		ビジネス教養Ⅱ	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	2 通	30	1		0		0	(0	
40		0	金融 アドバイザー	資金に関する総合的な知識を身に付け、経済・ 社会を見る力を養う	2 後	30	1	0	Δ		0	(0	
41		0		資金に関する総合的な知識を身に付け、経済・ 社会を見る力を養う	2 後	60	2	0	Δ		0	(0	
42		0	1級簿記 入門 I	会計基準および適用指針など実務に直結する 会計の入門的な知識を短期間で学習する	2 前	30	1	0			0	(0	

43	С		1級会計学 速習基礎Ⅱ	会計基準および適用指針など実務に直結する会計の基礎について短期間で学習する	2 前	60	2	0			0	0	
44	С)	1級原価計算 速習基礎Ⅱ	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎およ び経営戦略の基本的な内容について短期間で 学習する	2 前	60	2	0			0	0	
45	С)	1級簿記 速習総合Ⅱ	大企業を前提とした会計制度を学ぶ	2 前	90	3		0		0	0	
46	С)	ビジネス教養	美しく正しい字を演習を通じて学び実践する	2 前	30	1		0		0	0	
47	С)	1級簿記 速習演習Ⅱ	個別会計、結合会計などを通じて近年の企業 再編等についても学ぶ	2 前	60	2		0		0	0	
48	С)	全経簿記上級 総合Ⅲ	大企業を前提とした会計制度を学習し、複雑な 会計処理をより詳細に学ぶ	2 前	120	4	Δ	0		0	0	
49	С)	ビジネスマナー	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルー ルを学習する	2 前	60	2	0	Δ		0	0	
50	С)	パソコン実習 I	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を 身につける実習	2 前	30	1			0	0	0	
51	O)	パソコン実習 I	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習	2 前	30	1			0	0	0	
52	С)	パソコン実習Ⅲ	Word:長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel:目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習	2 後	30	1			0	0	0	
53	С)	パソコン実習Ⅳ	Word:応用的な機能を活用し効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel:複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習	2 後	30	1			0	0	0	
54	С)	経理実務	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての 知識を習得するための講義	2 後	60	2	0			0	0	0
55	С)	販売仕入管理	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に 関する知識を習得する講義	2 前	30	1	0			0	0	
56	С)	時事	現代社会における主要な時事の基本用語を理 解し、自分の考えや意見を持つための学習	2 後	30	1	Δ	0		0	0	
57	С)	マーケティング 基礎	事例研究を通じてマーケティングを演習する	2 後	60	2	0			0	0	

58	(0	卒業研究	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提 案し発表する	2 後	150	5			0	0		0	0
59	(0	企業実習・ 就職研修	正社員になるために内定先で必要な知識を学ぶ	2 後	120	4			0		0	0	
60	(0	企業実習・ 就職研修 II	正社員になるために内定先で必要な知識を学ぶ	2 後	120	4			0		0	0	
61	(0	企業実習・ 就職研修Ⅲ	正社員になるために内定先で必要な知識を学ぶ	2 後	120	4			0		0	0	
62	(0	企業実習・ 就職研修IV	正社員になるために内定先で必要な知識を学ぶ	2 後	120	4			0		0	0	
63	(0	給与計算演習	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、 特に年末調整事務を行うために必要な知識を 学ぶ	2 後	60	2	0			0		0	
64	(0	事務職 ビジネスマナー 基礎	事務職に特化したビジネス電話応対に関する 実践的な内容を学ぶ	2 後	30	1	Δ	0		0		0	
65	(0	事務職 ビジネスマナー 応用	電話応対、接遇に関する実践的な内容を学ぶ	2 後	30	1	4	0		0		0	
66	(0	ビジネス教養 V	美しく正しい字を筆ペンを用いた演習を通じて 学ぶ	2 後	30	1		0		0		0	
67	(0	プレゼンテーショ ン 実践	ネットビジネスの知識を活用したプレゼンテー ション資料の作成・発表を学ぶ	2 前	60	2	Δ	0		0		0	
68	(0	営業職 ビジネスマナー	営業職に関する実践的な内容を学ぶ	2 後	30	1		0		0		0	
69	(0	販売・接客職 ビジネスマナー	販売・接客に関する実践的な内容を学ぶ	2 後	30	1		0		0		0	
70	(0	営業・販売職共通 ビジネスマナー	営業・販売・接客に関する実践的な内容を学ぶ	2 後	60	2		0		0		0	
71	(0	総合演習 (就職対策)	就職試験において求められる対策を総合的に 学ぶ	2 前	90	3	Δ	0		0		0	
72	(0	コミュニケーション 概論	グループワークの手法について基礎的な知識 を身に付ける	2 前	30	1		0		0		0	

73	(0	実務会計 基礎	会計上・税務上のポイントを捉え経理・財務の基礎的な業務知識を身に付ける	2 前	120	4	0			0		0		
74	(0	実務会計 応用	経理・財務スキル検定ランクCレベルの知識を 習得する	2 前	30	1		0		0		0		
75	(0	経営法務入門	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得	2 後	30	1	0	Δ		0		0		
76		0	マーケティング 概論	マーケティングの知識を体系的に習得する	2 前	60	2	0			0		0		
77	C	0	Excel時短術	Excelの実践的なテクニックを習得することで、 業務の時短に繋がる仕事術を身に着ける	2 後	60	2	0			0		0		
78		0	ライフプランニング 概論	資金に関する総合的な知識を身に付け、経済・ 社会を見る力を養う	2 後	90	3	0			0		0		
79		0	ネット マーケティング	インターネット・マーケティング全般の基礎知識 や方法論などを学ぶ	2 前	60	2	0			0		0		
80	(0	Excel エキスパート	Excelに関する、より実践的な操作方法の理解 と実技演習	2 後	60	2	Δ	0		0		0		
81	(0	企業分析	事前調査を行い一定の知識をつけたうえで、実状の把握及び仮定の検証として企業見学を実施し、 業界・業種を越えた分析・比較能力の向上を図る	2 後	60	2			0	0	0	0		
82	C	Э	統計 スペシャリスト	Excelを使用したデータ分析技能と分析結果 を正確に理解し応用力を養う	2 後	60	2			0	0		0		
			合計	82	科	目				167	単位	立 (5010)時間])

	授業期間等	
(単位の授与) 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、秀・優・良・可を取得した学生には所定の単位を与える。	1 学年の学期区分	2 期

履修方法:	(試験等) 1. 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。 2. 各授業科目の成績評価方法については別に定める。 (学業成績) 1. 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は50点未満とする。	1 学期の授業期間	23 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。